



密を避けながら、これまでの感覚を変えて。

昨日、9月24日(木)は、授業を見にお越しくくださった保護者の方がいらっしまいました。

「いつでもどうぞ。」「何回でもいいですよ。」とお話しました。

これまでのような授業参観日は、まだまだ難しいのです。

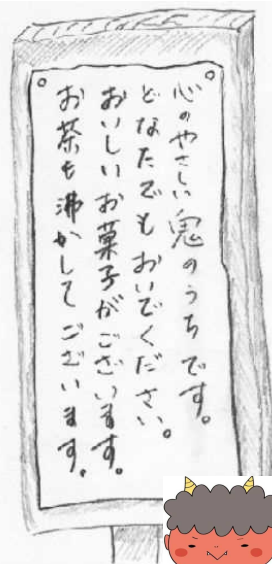
30人の教室に30人の保護者の皆様がお越しくなさると「密」になります。2回に分けて15人ずつお越しいただいても同様です。

残念ながら、これまでのような「授業参観」のイメージはしばらく我慢してください。お願いします。

平野小学校に鬼はいません。いらっしゃってもお菓子は出ません。お茶も沸かしてはいません。でも、高い敷居はありません。

予約の電話もいりません。遠慮なくお越しください。

マスクご持参で。入口での手指消毒にもご協力ください。



【泣いた赤鬼】

【宿泊学習に関わる説明会では、こんな話をしました。細かな文字ですが、ぜひご一読ください。】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校の教育活動も例年にないものとなっております。運動会、学習発表会は開催を見送らざるを得ない、授業参観等大勢が集まる活動も制限される状況です。

そんな中、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、何とか子どもたちが安心して学ぶことができる状態を維持して参りました。うれしいことに現在、平野小学校は全校で不登校ゼロの状態です。皆様には心より本当に感謝申し上げます。

保護者の皆様も、子育て、家庭、仕事と新型コロナ対応のため、様々なご心配やご苦労がごありのことと思います。私事になりますが、孫が12月に生まれました。初孫ですが、娘が名古屋で出産したものですから、出産の時に会ったっきり、9か月会っていません。家内は、「会いたいなあ」と言っておりますが、「辛抱、我慢」と言い聞かせています。

さて、第5学年の宿泊学習は、学習の意義とリスクを考慮した上で、実施の判断をいたしました。

意義は、学習指導要領にある「よりよい人間関係などの集団生活のあり方についての体験を積む」ということが一番となります。

リスクは、新型コロナ感染予防です。不特定の人と接触しないように、定員460名、食堂座席数188席の自然の家は72人で貸し切りとなります。バスも各学級1台に増やしましたので、移動と宿泊に関しては、日常の学校生活と変わらない接触の状況をつくることができます。

初日の活動は屋外の施設周辺、二日目のアクアマリンは手指の消毒をしっかりとさせる、日産の工場は他団体との接触はなしという状況をつくり、感染の防止に努めて参ります。

学校としては考え得る最大の対策を講じて子どもたちにとって大切な集団体験活動を実施しますが、お子様の参加については保護者の判断をいただいた上で行うことにいたします。新型コロナウイルス対策に「絶対安全」はないため、お子様の参加に同意をいただける方は「同意する」に○をつけてご提出いただきます。新型コロナウイルスへの不安から参加を見合わせる方は出席停止扱いとなります。

さて、皆様にはお願いです。それは、参加、不参加に関して児童の心に溝が生じないようご配慮いただきたいということです。それぞれの保護者の方にご判断いただき、互いの判断を尊重し、自分と異なる判断をした際も「どうして行くの、心配じゃないの。」「○○さんは、行かないんだって。」などと言わず、相手の判断を尊重していただきたいと思います。保護者の姿勢は、必ず子どもに伝わります。

我々は、東日本大震災の原発事故の際、「避難する、しない」「福島県産の食物を食べる、食べない」という判断の狭間で皆揺れ動きました。そこで学んだことは、異なる判断をしたことを感情のままに非難することではなく、「しっかりと学び科学的な知見に基づき各人が判断すること」そして「互いの判断を尊重すること」でした。私は、福島県は人権教育の最先端に行くことができると日々考えています。新型コロナウイルス対応でも同じです。一番怖いことは、考えの相違により、互いの心に溝が生じることです。

学校は、持っている情報はすべて皆様にお知らせします。最大限の配慮をします。心配なことがあれば何でもご相談ください。その上で、各保護者の皆様にご判断ください。よろしくお願いいたします。